



Q ご当地ナンバーを

A 費用対効果の面で導入しない

近藤 英基 議員

- 質問** 走る広告塔として鶴ヶ島市独自のデザインナンバープレートをとの観点から以下の質問を行う。
- 一本市での対象車両数は。
 - 本市の年間交付プレート数は。
 - ナンバープレート交付費用は。
 - ご当地ナンバーの導入費用は。
 - 市のPR効果はどのくらいか。
 - 電動バイクの今後の動向は。
- 答弁一(市長)** 鶴ヶ島市名のナンバープレート総数は、8月末現在、原動機付自転車、小型特殊自動車など合計で3409台。
- 平成21年度交付枚数は、637枚。
 - 無料で貸与し、紛失などで再交付の場合は1000円を徴収する。
 - 初年度は金型作成費用約300万円、プレート作成費用約19万円、計約319万円が見込まれる。

- 自治体関係者の視察や新聞・観光雑誌等への掲載など一定の効果があると考えるが、市町村合併など記念事業として導入されることが多い。費用も通常の3倍近くかかるので、導入は考えていない。
 - 走行中に二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない電動バイクは、今後普及が進むものと考えている。
- ◎その他の質問
- 携帯電話で高齢者見守りを
 - 市民福祉葬祭制度創設を

Q

保育の現状と幼保一元化問題を

A

待機児童数ゼロを最優先課題に

高田 克彦 議員



鶴ヶ島東部保育所

質問一 保育料未納の状況と待機児童数は。

答弁一(市長) 昨年度の未納状況は、現年分・滞納繰越分の合計85件で約1300万円。本年4月1日における国定義の待機児童は、発生していない。

- 児童虐待やひとり親世帯の実態は。
- 公立保育所・認可保育園・幼稚園の定員に対する状況は。
- 二つの公立保育所建物更新を。
- 臨時保育士と調理員の待遇は。

- 7時から18時外の延長保育の充実を。
- 児童虐待相談通報件数は、平成21年度が15件、本年度は8月末で16件と増加。ひとり親世帯は、約600世帯で推移。
- 入所定員と入所人数は、公立保育所4園の合計420人で461人。民間保育所8園の合計460人で516人。私立幼稚園6園の合計1550人で1209人。
- 待機児童ゼロ政策を優先し並行して老朽2園の修繕にも対応中。
- すべての非常勤職員について、多様な任用、勤務形態に応じた適正賃金等の処遇全般を検討する。
- 引き続き延長保育の充実を検討する。

◎その他の質問 総合計画の基礎について